

展望

OUT LOOK 日本語版

マニトバ日本文化協会
180 McPhillips Street
Winnipeg MB R3E 2J9

マニトバ日系文化センター

67 卷

2019 年 6 月

(記事は英語版からの抄訳です)

JCAM 会長報告

ケン寺村

もうすぐ夏を迎えますが、センターでは様々な事が進行中です。

ほとんどの皆さんが既にご存知であるかと思いますが、センターにある数力所の部屋、ボードルームといった建物の西側で改築工事が始まろうとしています。トラクタスプロジェクトが、六月二十四日から、約八週間にわたる八月までの工事に取り掛かります。センターは、七月一日から夏休みをいただきます。センターは、二十二日に再び開館する予定です。この改築に伴い、センターで行われるイベントの数々に影響が出ることでしょう。いつもセンターでは、何かしらイベントがありますから、改築するのに完璧な日程など存在しないわけですが、夏に閉館するのが一番良いと思われます。そうすることで、ほとんどのアクティビティが再開される九月には、センターも全て復旧することでしょう。

工事期間中はセンターが完全に閉館するのですか、というお声をボードでは、良く耳にします。工事が行われるのは建物の西側だけで、他のエリアは工事の影響を受けません。その他に良く聴くのは、この改築工事は、センターやコミュニティにどのような利益をもたらすのですか、という質問です。我々は、オフィスのスペースを再構築することで、効率

を上げ、小さな多目的ルームを作る予定です。オフィスのうちの一つは、我々の歴史保護プロジェクトに使われます。ボードは、このプロジェクトに取り組むことを非常に喜ばしく思っています。詳細は、次号以降の展望にてお知らせ致します。改築工事に關して、ご質問のある方は、アート三木までお知らせくださいませ。

六月二日午後一時半より、BC 是正コンサルテーション会議が NAJC 主催のもと、開かれます。我々のうちの多くがかつて、BC と繋がりを持っていました。まだ繋がりのある方も、いらっしやいます。日系人コミュニティの一員として、BC 州が何をしようとしているのか、この重要な問題に關して、我々は、どのようなことを期待しているのか、見に来ませんか。

もう一つの大きなプロジェクトは、JCAM ホームページのアップデイトです。現在、我々は、ホームページを見直し、新たな記事、リンク、内容を足しており、九月には、一般公開する方針です。皆さんがオンラインでメンバーシップ費を払ったり、募金をする事ができるようになるイーコマスを含むようになる予定です。新しいサイトがオープンする際には、皆さんにもお知らせいたします。

夏の到来にあたり、我々は、フォークロラマ五十周年を祝うため、気合いを入れています。もし過去のフォークロラマで撮影した写真がありましたら、センターまでお持ちください。(送ってくださいても構いません。) 尚、清掃係を束ねるボランティアの方も募集しています。もし、このお仕事や他にもボランティア希望の方がいらっしやいましたら、私までお知らせください。そして、新しいパピリオンの会場であるペトラスホールを観に来てください。場所は、二六二四インクスターブルードです。

フォークロラマの後には、今年二回目の開催となります。盆踊りが八月二十四日に行われます。踊りの練習がすぐにも始まる予定です。詳細は、JCAM からのお知らせをご確認ください。

最後に敬老会のお知らせです。コミュニティの七十歳以上の皆さんに敬意を示すチャンスです。敬老会にご興味のある、ご両親や祖父母をお持ちの皆さん、私までご連絡くださいませ。敬老会は、九月二十九日にセンターで開かれます。皆さん、素敵な夏をお過ごしください。



フォークロラマ 2019 八月十一日ー十七日

今年のフォークロラマ五十の日本館は、大きく、さらに良い会場のペトラスホール (Petrus Hall, 2624 Inkster Boulevard, Inkster へ Route 90 の南東の角) です。

日本館は毎年フォークロラマの中でも見逃せないパピオンであり、新しい会場で、ご来場の皆様にはより良い体験をしていただけたと思います。

ペトラスホールは、今までのほぼ二倍の広さです。この会場で、八月十六日(金)に、日本のパフォーミンググループ、による沖縄の伝統演舞エイサーの公演があります。会場のメインホールはとて大きく、玄関とロビーが別にあり、キッチンもさらに大きくくなりました。

新しくなった今年は、六時四十五分、八時十五分、九時四十五分のショーは期間中開催。五時十五分のショーは最終日の八月十七日(土)のみです。

すでに何人かのボランティアがパピリオンの運営の準備を進めています。クリーンアップ部門のボランティアが必要です。ボランティア希望の方はオフィスかボードメンバー又はケン寺村会長はでお申し出ください。

チケットの発売開始は六月六日十時です。

<https://folklorama.ticket.ca/>

日本館パビリオン大使のご紹介

ユースアンバサダー

オオニシ ティーン

ティーン オオニシ マーサです。十六歳でフォートリッチモンド高校の十一年生です。サッカーが大好きで四歳の時からやっています。名古屋生まれで、今も名古屋に家族がいます。40Sの日本語クラスを修了しました。英語と日本語共に流暢です。今年の日本館の代表として、また他のパビリオンのアンバサダーや来場者の方々と会えるのをとても楽しみにしています。

ニシキオリ カズキ

こんにちは。私の名前はニシキオリカズキです。今年のフォークロラマの日本館のユースアンバサダーのひとりです。十七歳で、二〇一九年四月にColorado Middle College を卒業しました。来年度はマニトバ大学のサイエンス学部で勉強する予定です。学校の外では、私は現在、キックキットダンススタジオのダンサーです。バレエ、ジャズ、リリカルそしてコンテンポラリーなどいろいろなダンスフォームを練習しています。

日系コミュニティの一員である事は私の人生にとってとても大切な事です、カルチャーセンターには覚えている限りですと来ています。ニューカマーズグループに母と来たのが最初で、その後日本語クラスに通いました。今年の日系コミュニティの代表となる事をうれしく思います。

アダルトアンバサダー

アフミ ホノカ

アフミホノカと申します。日本の古都である京都の出身です。ウィニペグに来て三年が経ち、今私は二十九歳…。現在 Dwaht'No Cachee でサーバーをしており、レストランで多くの新しい人たちに会

います。異文化を探検するのが大好きで、それがフォークロラマの参加が楽しい理由かと思っています。私は食べ物の事なら何でも大好きです。食べる事、料理する事はもちろん、日本のレストランで見るような食品サンプルを作る事も大好きです。私の将来の夢は、田舎に住み、三匹の犬の横でコーヒーを啜ることです。

タナカ アヤカ

タナカアヤカと申します。神戸生まれの二十二歳です。現在、日本の甲南女子大学の学生です。今は休学してワーキングホリデーでウィニペグに来ています。英語の上達のために来ました。

ここで、パートタイムで働いている間、マニトバ大学のELCイングリッシュ・ランゲージ・プログラムのELCにいました。そして今月は IELTS exam を受けます。趣味はファッション、欧米や韓国の音楽を聴く事、そしてウィニペグのローカルライフの体験です。自国の文化と伝統を見せる良い機会であり、私にとっても貴重な経験になると思います、日本館のアンバサダーとなる事を決めました。



パンアメリカン日系人アソシエーション大会 コパニXXのお知らせ

二〇一九年九月二十日から二十二日まで

パンアメリカン日系（コパニ）大会が、二〇〇五年にNAJCCがバンクーバーで主催して以来初めて北米に戻ってきます。この大会は、一九八一年から二年おきに開かれていて、アメリカ全土に住む日系人を束ねてきました。現在のパンアメリカン日系人アソシエーションのメンバーは、アルゼンチン、ボリ

ビア、ブラジル、カナダ、コロンビア、日本（地域外参加国）、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国、ウルグアイ、ベネズエラ、アメリカ合衆国です。

コパニXXのねらい

- 公開討論や、ディスカッション、ワークショップ、文化的、社会的なアクティビティ、ツアーやその他の活動を通して、他の日系人の皆さんを引き込み、交流する場を設ける。
 - 新たな可能性を求めてアメリカ大陸に移住してきた一世の皆さんが残してくれた遺産に敬意を払い、日系人であることに誇りを持ち、祝福する。世界中の日系人コミュニティと繋がりを持つ活気に満ちた役割を果たす。
 - 我々、日系人や日本からの移民が日系人コミュニティを保存していく上で避けられない葛藤や共通する経験をみんなで共有する。
 - 新しいデジタル方式の世界で成長する若い世代の日系人を引き込み、彼らに情熱を持たせ、日系人であるということを再定義させるようなビジョンや創造性を保つサポートをする。
 - 参加者のコミュニティにより貢献できるような将来のプロジェクトを花開かせるための確実で新しい情報を確立する。
 - 世界中に広がる日系人という共同体が一つにつながるために、このコパニでフォーカスされた分野や新しい機会を新しい段階に到達させる。
- 大会の期間中は、以下のようなワークショップが開かれています。
- 1 ビジネス、2 青少年、3 芸術と文化、4 家族と共同体、5 市民権と社会的な正義
- これらのワークショップは、「未来は、ここにある」というテーマに沿うもので、この大会の大きな目的は、現在のわれわれの世代に生きる人たちに、より責任感を持ってもらい、より発言権を与える

ということです。また今回は、初の全員が若い世代となるパネルディスカッションの機会があるかもしれません。そこで彼らは、夢やプロジェクトの案や達成したいことなどを語ることでしよう。

主な会場について

ほとんどのアクティビティやセッションは、ウェストベイセンターとサンフランシスコ仏教寺院で行われます。

住所は、1290フィルモアストリート、サンフランシスコ、CA、94115。仏教寺院、1881パインストリート、サンフランシスコ、CA94109です。

お申し込みと宿泊施設について

オンラインでのお申し込みが大会のサイト、

copaniorc/register に、いつでも可能です。参加費は、三百七十五アメリカドルです。申し込みサイト

でオンラインの支払いができます。二〇一九年三月一日よりも早くお申し込みいただいた方は、五十アメリカドルの割引が適用されます。交通手段や宿泊施設に關する情報は、こちらをご覧ください。

copaniorc/travel-info

会場周辺のホテルの部屋数には、限りがございます。すぐに予約が埋まってしまいますので、早めのご予約をお勧めいたします。

その他、お問い合わせ

お問い合わせは、NAJOCのケビン岡部まで
メールアドレス ed@naic.ca

もしくは、電話番号 四〇三・五六一・七五七二
コパリの最新情報は、

copaniorc もしくは、

www.facebook.com/Copan2019

をご覧ください。

マニトバ短歌会

六月作品

・春なれば友より賜びしスカーフを
首にまわせば心樂しも

富由

・スカーフを広げて見れば色々な
花の型に葉の模様あり

奈津

・冬將軍去りて卯月の空に浮く
ぼんやり淡き昼の日輪

・ひらひらと舞ふは卯月の雪にし
三寒四温今日の天気図

亜紀

・寒い冬やとと抜け出た思ひにて
弥生のひかり曳きて歩めり

・霧深き朝のなか空うつすらと
南の空に白き月見ゆ

羽瑠

・広き芝海へと続くキャンプ場
去年より一泊多く予約す

・共稼ぎの友より貰ひしフリーズドライポテト
キャンプのために一箱残す

葉流

・長き長き冬を越え来し同志ゆえ
声をかけ合ふ早春の道

・遊歩道行き交ふ人の眼差し
やはらかなるき早春の陽に

ホライズンクラブ

活発に活動中のホライズンクラブ。三月には会員数は四十人を超えました。会員の方々の為になるプログラムを開催しているのが人気の理由かもしれません。最近では、ウィニペグ警察による市民安全講座がありました。また、四月二十四日のセントパトリックデーを祝う催しで、大野夫妻によるシャブシャブランチもありました。会員料金の特別低価格の一皿四ドルで、大抵の祝祭日にお祝いをします。ハムとスカロップポテトが出る時もありますよ。次回は六月二十六日の「夏の集まり」です。

英文アウトLOOKにはイベントを楽しんでいる写真が満載です。ご覧ください。



故

ナンシーニシバタ
アーサーワタナベ
タダオ(タッド)オオサト
諸氏のご逝去に対し心から哀悼の
意を表します。

マニトバ日本文化協会

日系文化センター 二〇一九年イベント予定

六月

二十四日 リノベーション開始 図書室、
ボードルームエリア

二十日 センター閉館三週間夏休み

七月

二十三日 センター開館 通常時間、
改築は継続

八月

十一日 日本館午後六時オープン
(Petra's Hall, 2624 Inkster Boulevard)

十七日 日本館最終日
「OUTLOOK」「展望」
秋号発行

二十四 盆踊り(於 Burton Cummings
「コミュニティセンター



アジアン・ヘリテージ 月間

アジアン・ヘリテージ・ソサエティ・オブ・マニトバは、今年で十七年目であり、カナダのアジアン・ヘリテージ月間の五月の月間賞に選ばれたことを祝福します。この祝賀の大部分は、アジアの伝統を広めたこと、そしてカナダでのアジア系カナダ人の貢献によるものです。アジアン・ヘリテージ・オブ・マニトバ基金の祝賀は二〇一九年三月に、大野貞夫氏には、日系社会への貢献、「コミュニティのボランティア活動の中で模範となるリーダーシップを発揮したことにより、「コミュニティベストアワード」が贈られました。

大野氏が初めてカナダに来たのが一九七二年。ウィニペグには一九七五年に来て有名なレストランで働きました。大野氏は家族で「江戸平寿司(エドヘイスシ&ジャパニーズレストラン)」を開店。ウィニペグで初の本格的日本食レストランでした。在職中は多くのアシスタント達の指導にもあたり、大野氏から学んだ彼らは自身の日本食レストランを開業していきました。エドヘイは二十五年後の二〇一二年に閉店しましたが、ウィニペグに寿司を広め、その伝統的な本格日本料理は記憶に残ることでしょ。

大野氏のレガシーは彼と妻のサチコさんと続きます。彼のユニークな才能は、カルチャーセンターの募金活動のイベントである丼ランチ、キューイジーヌナイト、ラーメンランチ、そして敬老会、祝賀会、特別な募金活動からの注文の本格日本料理、を含む多くの特別行事から依頼があります。大野氏はセンターや他の場所で料理教室も行なっています。フォークロラマ開催中は、芸術的な寿司の作り方を実演し、彼の寿司づくりのスキルで来場者たちに教えてくれます。彼は、日本料理とそのスキルを皆に広め、他のマニトバ人たちと日系社会とを結ぶ大使と言えます。

大野氏は、日本文化と日本料理の継承に貢献した功績で、リーダーシップアワードに値します。



日の出太鼓

熱心なファンも多い「日の出太鼓」は、こちらで観れます、聴けます。

スケジュール

○六月十五日 午後三時三十分
場所 Summer in the City (Steinbach)

○七月一日(カナダデー) 午後九時
場所 Dugald Community Club

○八月十一日から十七日のフォークロラマ

JOY「L」

日系カナダ人ヤングリーダーになろう！

NAJCCのヤングリーダーコミュニティ(YLC)は、カナダの日系カナダ人コミュニティに所属するヤングリーダーの中心となるグループとして二〇一四年に設立されました。YLCは日系カナダ人コミュニティの若い人達のために、連携し、連絡指導、彼らの声を聴き、そして次世代の日系カナダ人のリーダーの育成をサポートします。その使命に従って、YLSは、カナダ中の日系カナダ人コミュニティのヤングリーダーの活動をサポートするために、ヤングリーダーファンドを設立しました。

NAJCCヤングリーダーファンドの補助金が利用できます！

日系カナダ人コミュニティ(ウィニペグもそのひとつ)のためのプロジェクトならば、二千ドルまでの補助金が申請できます。

Email Youngleaders@Nancy.ca または
<https://naic.ca/funds-and-awards/young-leaders-fund/>
申請の締切は二〇一九年六月二十二日です。

六月二十四日よりセンターの改築工事開始

三社に掛け合った結果、契約を勝ち取った一社により、六月二十四日月曜日から改築工事が施工されます。トラクタスプロジェクト（センター入口の新しい小さなエリアを建設したのと同じ会社です。）が、壁を壊したり、天井を取り払ったり、エアダクトの工事をしたり、電気系統や電灯の工事をしたり、床を張り替えたりします。現在の図書館、NAJCオフィス、ボードルーム、マーク古賀ルームの一部が工事の影響を受けます。保護用のプラスチックシートを張ってもらう予定ですが、恐らく、空間が取り壊される工事開始から数週間間は、プラスチックの埃がたくさん舞うことになるでしょう。できれば九月のロングウィークエンドの前には工事が終わるといいですね。工事中も、センターの事務所と建物の工事に影響のない個所は、通常通り営業しておりますが、建物の西側（禅ガーデンの脇）は、工事に携わる人たち以外は立ち入り禁止となります。また、例年のように六月二十九日（七月のロングウィークエンドを含む）より、三週間センターは閉館いたします。七月二十三日火曜日に再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

カナディアン・アイコン・プロジェクト アート三木氏も含む

カナディアン・アイコン・プロジェクト：先見の明をもつ人達と独創的な人達は、私たちの最も成功している先見の明をもつ人達を讃える写真展示会である、と写真家ドン・ディクソン氏は語りました。

「このプロジェクトは国民性を賞賛する。」この取り組みは、カナダ全土と多くの場合世界全体に影響を与えた優れたリーダー達を集結します。

この草分け的な、マルチメディア展示会は、この進行中のプロジェクトから厳選された三十のプロフィール

の作品、現在百二十七の記録に残る伝説のカナダ人を含む、を特集しています。アート三木氏は個人の紹介の作品のひとつです。

アイコン・プロジェクトは、有名な写真家でドキュメンタリー映画製作者のドン・ディクソン氏によって考えられ、作り出されました。それは十年間のプロセスの親密な肖像画、そして人生の歩みから感じるカナダ人の情熱と物語の記録のインタビュースです。いずれのプロフィールも短いエッセイと個人の深い想いを映したビデオ映像です。

カナディアン・アイコン・プロジェクトは、二〇一九年五月一日から五月三十一日まで、トロントのX Gallery, 101-11 Davies Avenue でご覧いただけます。

在カナダ日本国大使がJCAMを訪問

五月十五日水曜日、石兼公博在カナダ日本国大使がセンターにお立ち寄りになられ、施設をご覧になり、そこにいた方々を訪問されました。ホライズンクラブの皆さんとその他の皆さんが大使を歓迎し、歓談しました。大野貞夫さん、幸子さんが特別に軽食を用意し、皆さんで楽しみました。

大使の他に、ご夫人の石兼かおる氏、井上しゅんいち氏（大使館、参事官）、さかもとこうへい氏（広報、コミュニケーション相談役、在カルガリー総領事館）、そして、ケン・ザイフマン氏（名譽在ウィニペグ領事）が訪問に加わりました。大使は訪問を楽しみ、センターの本、雑貨販売から数点お求めにられました。

JCAM 理事会二〇一八―二〇二〇

会長 ケン寺村
副会長 デボラ竹内
会計 レス小島
書記 ジェームス・シノック
理事 安達裕陽士、カミングみゆき、
サラ江畑、ケリー海田、リサ海田、
ヘンリー小島、ジョイ・レトカマン、
アート三木、大野貞夫、カリナ上原
グラント・ボークス

ヤングリーダー
ダニカ・ミューラー、
フライアン・ツロン
仏教会連絡 ヘンリー海田

JCAMスポンサーに感謝

フランク堀慈善基金
SEVAインターナショナル慈善基金
BIPositiveチーム基盤
Investors Group 安達裕陽士
ユニークバニー、ポッカポカスパ、サキヤマコー
ポレッションLtd.

